

## 新火葬場建設に関するご質問事項と回答

### ご質問 1. 交通量について（高山市）

#### 昨年一年間の西洞火葬場の利用状況（グラフ、表などでわかりやすく）

⇒ 高山市営火葬場では、30 年度中に 723 件の人体火葬が行われました。季節や曜日による大きな差はなく、時間帯としてはお昼前後に集中しています。1 件あたりの参列者は概ね 20～30 名程度で、マイクロバス 1 台と乗用車数台が利用されることが多くなっています。（資料 P 1）

### ご質問 2. 環境に対する影響（高山市）

#### 排煙にダイオキシン等含まれないか？

⇒ ダイオキシン類は 800℃以上で、においの元となる有害物質は 200℃から 650℃以上の温度で分解されるため、火葬場では 800℃から 900℃の高温で排ガスを再度焼き、有害物質を分解（無害化）してから排気しています。（資料 P 2）

火葬場周辺の大気は調査しておりませんが、市内で調査結果がある市役所周辺と資源リサイクルセンター周辺でもダイオキシン濃度に差はなく、においなども含め周辺環境への悪影響はほぼないものと考えております。（資料 P 3）

また、建設予定地では、周辺環境を正確に把握し、施設建設による環境への悪影響が出ないように必要な対策をとることを目的に、環境影響評価の実施を予定しています。

### 排水計画、調整池、流路工の計画の有無

⇒ 仮にこの候補地に決定した場合、敷地北側から大萱谷川までの排水経路を想定しています。

また、敷地内の雨水排水については、建設地決定後に実施する詳細調査の結果により、適切な流量調整機能を確保します。（資料 P 4）

### ご質問 3. 上下水道の対応 計画水量等周辺住民の利用に影響しないか（高山市）

⇒ 仮にこの候補地に決定した場合、敷地までの給水については、延長500m弱の上水道管の敷設と加圧設備 1 か所の整備を想定しております。現在、運動公園とゴルフ場の間まで十分な口径の管（75φ）が整備されており、計画水量に関する周辺への影響はないものと考えております。

また、敷地からの下水については、敷地北側から延長200m弱の下水管を敷設し既存集落排水へ接続することを想定しており、汚水排水による周辺への影響はないものと考えております。（資料 P 4）

**ご質問 4. 窪地の問題 検討項目も景観、見晴らしがよいとあるが、窪地？というか丘陵地、予定地からは四方見渡せる訳ではない。(検討委員会)**

⇒ 検討委員会では、31件の応募土地や選考経過における19件の候補地(市有地3件を含みます)、5件の候補地などについて、複数回にわたり現地視察を行いました。そのうえで、候補地どうしを比べた場合にどうであるか、各委員が評価を行いました。委員の中にもそれぞれの考え方がありましたが、検討委員会全体を総体的にまとめました意見が記載されております。

**ご質問 5. 検討項目に農業に関するものが見当たらない何故か？(検討委員会) 風評被害に対する対策の検討はおこなっているか？**

⇒ 検討委員会では、候補地選考において絞り込みを行う前に、あらかじめ選考基準や選考手順を決められました。選考基準内に農業の文言はありませんが、検討委員会では候補地の現地視察を複数回行ったうえで、周辺環境を含めて評価しています。風評被害については、一般的に火葬場では、においやダイオキシン類など排煙のご心配をされることがあります。また、施設に対する暗いイメージや死への負の感情も否定できません。

このうち、排煙対策については、現有施設も含めてここ数十年で大きく改善されてきています。新施設では、最新の火葬炉設備を導入することで対応していきたいと考えております。イメージについては、周知等の方法にも注意が必要と考えますが、新施設の整備にあたっては外観への配慮も含めて最新設備であることなどの積極的な周知に努め、これまでのイメージの払拭に努めたいと考えております。

**ご質問 6. 最終的な候補地選定までの工程について(高山市)**

⇒ 工程は以下のとおりです。

